

剰 余 金 処 分 案

(第 29 期)

(単位：円)

科 目	金 額
1 当期末処分剰余金	728,048,249
2 剰余金処分額	412,619,510
(1)任意積立金	330,000,000
店舗等施設整備積立金	200,000,000
農林年金対策積立金	30,000,000
創立周年対策積立金	-
特別積立金	100,000,000
(2)出資配当金	30,728,882
(3)事業分量配当金	51,890,628
3 次期繰越剰余金	315,428,739

(注) 1 出資配当は年 3%です。

2 事業分量配当の内訳は次のとおりです。

(単位：円)

事 業 区 分	配 当 基 準	配 当 金 額
信用 貯金	金利上乗せ企画定期商品（緑がいつぱい定期貯金等）、貸出金担保分（総合口座貸越分を含む）を除く定期貯金の年平均残高に対して0.13%の特別配当を行います。 但し、店頭基準金利上乗せ定期貯金（金利上乗せ企画定期商品は除く）については、上記の0.13%を上限として、その上乗せ金利差に対して配当を行います。 例 0.07%上乗せの場合 0.06% 0.05%上乗せの場合 0.08%	51,890,628
事業分量配当金合計		51,890,628

3 任意積立金のうち目的積立金の種類及び積立目的、積立目標額、取崩基準等は次のとおりです。

名称	積立目的	積立目標額	取崩基準	残高 平成29年3月31日現在
店舗等施設整備積立金	本・支店等における建替え等の支出に充てるために積立てる。	10億円	本・支店等の建替えに伴う建設費及び、その他関係費用の支出に充てる場合に取り崩す。	7億円
農林年金対策積立金	農林年金制度完了に伴う、農林年金特例業務負担金の一括費用処理に備えて積立てる。	188百万円	平成30年度以降、農林年金特例業務負担金を費用処理した場合に取り崩す。	90百万円
創立周年対策積立金	創立周年記念行事に備えるために積立てる。	50百万円	創立周年行事費用に充てる場合に取り崩す。	50百万円

4 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善事業の費用に充てるための繰越額25,000,000円が含まれています。